



令和7年度和歌山県立向陽中学校（学校経営方針）スクールプラン

【和歌山県の目指す姿】

- ①学びに対する展望や向上心をもって、主体的に学習に取り組み、思考力・判断力・表現力を身につけている。
- ②豊かな感性や教養が備わり、自他を尊重する気持ちや自己肯定感が育まれている。
- ③科学技術等に対する探究心を持ち、広い世界にはばたこうとする意識や資質・能力を身につけている。

【校訓】

「自彊不息」「文武両道」「質実剛健」

【教育目標】

豊かな人間性と高い知性を持つスケールの大きな人材の育成

【目指す生徒像】

- ・未来を切り開くリーダーの資質と能力を身につけた生徒
- ・課題を発見、探究し、主体的に判断し、行動できる資質や能力を身につけた生徒
- ・理数の確かな学力と幅広いコミュニケーション能力を身につけた生徒

【前年度の学校評価】

- ・学校評価では17Pを基準として、下回る項目について課題として検討していくこととなるが、教員の意識が高いからこそ、厳しい評価になるものもある。しかし、そこに改善の余地がある。
- ・業務改善について、学校評価の項目から、「指導方法の工夫改善がなされている」のポイントが高いことから、より良い方向に変えることができている。

【保護者の願い】

- ・確かな学力を身につける。
- ・様々な活動を経験させたい。
- ・安心・安全な学校に通学させたい。

【向陽生として身につけたい力】

・協働（チームワーク）

・行動（アクション）

・探究（クエスト）

発信力
合意形成能力
コミュニケーション力

一歩踏み出す力
実行力
やりきる力

追究する力
つなぐ力
創造力

【児童生徒の実態】

- ・学力・向学心が高い。
- ・規則正しい生活を送ることができている。
- ・主体性や人間性の涵養が期待される。

【学校研究課題】 「思考力を鍛える ～共創的対話を取り入れた授業実践～」

重点目標

【確かな学力の向上の推進】

- ・教員の授業力向上
- ・家庭学習習慣及び自立的学習態度の育成
- ・キャリア教育の充実

【人間関係や判断力を育む生徒指導の充実】

- ・教師と生徒の信頼関係の構築
- ・生活習慣や適切な判断力の育成
- ・教育相談体制の充実

【学び合い高め合う集団作りとリーダーの育成】

- ・豊かな心を育む学級経営
- ・学校行事の充実とリーダーの育成
- ・学び合いを中心とした共創的対話の充実

【中高連携の推進】

- ・教科指導における相互理解
- ・各分掌での積極的な連携
- ・中高生徒間の協働・連携

具体的な取組

- ・研究部会を中心に授業研究を推進し、全教員が研究・公開授業を実施する。
- ・GIGAPCの効果的な使用法について情報交換することで授業改善に活かす。
- ・各学年で系統的にキャリア学習を実施し、勤労観や職業観を養うとともに目標に向けて努力する態度を育成する。

- ・生徒の情報交換を密にし、生活の記録や普段からの声かけから信頼関係を築く。
- ・挨拶や掃除の徹底、身だしなみ・携帯電話の使用など規則を守る指導を充実させる。
- ・SCやSSW、不登校等生徒支援員と職員の連携をとり教育相談部会を充実させ、生徒の悩みや課題に早期に且つ組織的に対応する。

- ・誰もが活躍できる場を設定し、お互いに認め合える雰囲気醸成する。
- ・各行事における実行委員会の取組を通してリーダーや自治力を育成する。
- ・集団として協力し、達成感を味わえる学校・学年行事の充実させる。

- ・各分掌や教科会などで課題を掘り起こし協議する。
- ・研究授業や公開授業など、指導方法や教材を互いに交流しあう機会を大切にし、連携を深める。
- ・中高の生徒が協働できる機会の創出する。

指標

- ・教科を超えた指導案検討会 年4回以上の実施
- ・生徒学校評価の「教え方の工夫」 35P以上
- ・研究授業で思考力の向上を目指しICTを活用

- ・生徒学校評価の「教師との相談」項目 35P以上
- ・情報モラル講座や健康に関する授業を2回開催
- ・教育相談部会 年6回以上開催

- ・生徒学校評価の「行事の充実」 35P以上
- ・生徒学校評価の「生徒の自主性の尊重」 35P以上

- ・各分掌会議を年3回以上行い教育内容・方法等点検と改善を図る
- ・高校生と協働できる機会を1回以上創出